



Nursing now in IBARAKI ～看護の心をみんなの心に～開催あいさつ

茨城県知事 大井川 和彦

このたび、Web配信という新しい試みにより「Nursing now in IBARAKI～看護の心をみんなの心に～」を開催できますことを、心から感謝申し上げます。

看護職の皆様におかれましては、日頃から、保健・医療・福祉の第一線において、県民の健康・生命を守るため、多大なるご尽力をいただいている中、新型コロナウイルス感染症対策では、医療機関や宿泊療養施設での看護、自宅療養者の健康観察、ワクチン接種等などにご協力いただいておりますことに、改めて深く敬意と感謝の意を表する次第です。

また、看護職を目指す高校生の皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も「高校生一日看護体験」が中止となってしまいましたが、今回新たに、看護学生、現役看護師との座談会をWebで配信することといたしましたので、是非、御覧いただき、看護への道を進むきっかけとしていただければと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、年明け以降、感染が再拡大し、まん延防止等重点措置が本県を含む各地に適用されるなど、予断を許さない状況が続いております。

県といたしましては、引き続き、県民の皆様の命と健康、そして暮らしを守ることを最優先に、医療提供体制をしっかりと確保するとともに、三回目のワクチン接種などに先手先手で取り組んでまいります。

こうした中、看護職の果たす役割は極めて大きく、その重要性が再認識されたところであります。県におきましては、看護師等修学資金拡充による養成促進や職場環境づくりによる定着促進、潜在看護職員の再就業促進を図ってまいりますとともに、今後の在宅医療等を支えるため、看護師の特定行為研修受講に対する助成を実施するなど、資質の向上にも努めてまいります。

また、国では、令和4年2月から地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象とした収入引き上げ措置を行う予定でありますことから、県としましても、国と連携を図り速やかに対応できるよう、準備を進めてまいりたいと考えております。

茨城県看護協会をはじめ関係者の皆様方におかれましては、本県の保健・医療・福祉の充実のため、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本イベントを契機として、県民の皆様に「看護の心」がより広く浸透し、誰もが安心安全に暮らせる地域社会の実現につながりますことをお祈りいたしまして、あいさつといたします。